

「長野県」調査委員会 長野冬季オリンピック招致委員会

会計帳簿処分の調査結果についてのご報告

帳簿処分は使途不明金・過剰接待を隠すために行われた！

約9000万円の使途不明金 Table with columns: 年月日, 摘要, 債主, 金額, 会計課受領月日

過剰接待 「1人につきトータル200USD(当時の為替レートで2万7千円)を超えない」IOC委員へのプレゼント類についてはこのような金額制限等(※)がある。

(1) お土産関連予算額は総額約6304万円 Table with columns: 予算額合計, 予算額の内訳, 支出内容

(2) 複数回に及ぶお土産の供与 Table with columns: IOC委員名, 年月日・場所・物品・対応者等

(3) ソレンセンIOC委員夫妻への接待攻勢 平成3年1月、ホルスト・ソレンセンIOC委員を委員長とする7名の合同調査委員会によって、施設等の調査がおこなわれた。

(4) 京都旅行 IOC委員を招待できる地域は、「当該(立候補)都市又は周辺地域」に限定されている。

「長野県」調査委員会委員名簿 Table with columns: 氏名, 略歴等

略名紹介 IOC…国際オリンピック委員会 FIS…国際スキー連盟 NOC…各国の国内オリンピック委員会

JOCからIOCへの調査報告は、責任回避のため、実体を隠していた！

招致連絡会 昭和56年に、ソウルに敗れた「名古屋の二の舞にならないように」との強い思いから結成された長野冬季オリンピック招致連絡会は、猪谷千春氏、岡野俊一郎氏ほかJOC幹部、長野県、長野市、招致委員会の幹部で構成され招致活動をリードしていった。

JOCの調査報告書 平成10年11月、次回の冬季オリンピック(平成14年)が開催されるアメリカのソルトレイクシティでIOC委員に対する贈収賄疑念が発覚した。

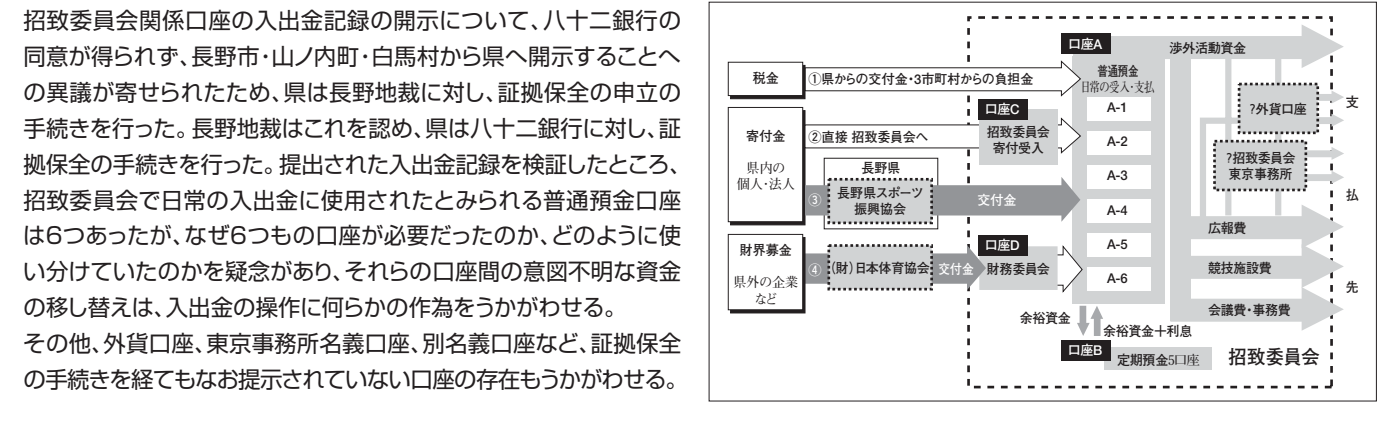
堤義明氏が関与していたと物語る文書が存在する 招致委員会の招致方針の策定にあたっては、堤義明氏の意向も、少なからず反映されていた。

違法な割り当て寄付が行われていた！

長野オリンピック招致財務委員会(小坂善太郎委員長)や長野県スポーツ振興協会からの県民や企業への依頼の中には、書類上はどこにも県の意向による「割り当て依頼」といった記載はもろならない。

しかし 調査結果によると 約9000万円の使途不明金が存在していた! ①当時、外貨持ち出しは自由化されており、大勢で小分けして持っていく必要はなかった。

不自然な複数口座の利用や入出金管理!



虚偽の監査報告がなされている!

招致委員会の「会計の監査」とは、県民の立場に立って、チェックすることである。招致委員会の監事は、日本オリンピック委員会前監事の荒川清美氏、日本オリンピック委員会の元監事の加藤大豊氏、(株)八十二銀行頭取の中山富太郎氏の3名であった。

県の直接負担は2億円をこえていたが、大部分は公開されていない!

Table showing direct financial burden of the prefecture, with columns: 区分, 2年度, 3年度, 計

「長野県」調査委員会報告書の頒布について

「長野県」調査委員会報告書をご希望される方には、次により実費で頒布いたします。行政情報センター(県庁西庁舎1階)及び地方事務所行政情報コーナー(各地方事務所1階)で代金と引換えに資料をお渡しいたします。

長野県民の皆様へ

この報告書は、当調査委員会に与えられた課題のうち、長野オリンピックの招致活動に焦点を絞った報告です。報告書作成にあたっては、県有施設内に残されていた資料や関係者への事情拜聴の結果などから、現段階で「これが事実と違いない」と認定した事柄や、この際、県民の皆様に見て頂きたい未公表の資料をまとめ、皆様への判断材料の提供を試みたつもりです。

受付窓口(受付期間2006年5月末日まで) 長野県経営戦略局 政策促進チーム 気付「長野県」調査委員会 〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2 TEL:026-232-2272(直通専用電話)